



プレイ人数：3-9 人  
プレイ時間：10+5 分  
対象年齢：12 才以上

取引時間はわずかに 10 分  
己の資産と情報を武器に  
資産を増やすのが目的となります

市場に流れる株式数を、  
それぞれが掴んだ秘密の情報を、  
そして各々が抱く思惑を、  
うまく活かして、己の資産の糧にしましょう

### 内容物

株式カード：30 枚  
(5 社各 6 枚)  
市場情報カード：10 枚  
紙幣：1 セット  
スコアシート：1 枚  
(コピーしてご利用ください)

## ゲームの準備

初めて遊ぶときはシートから各カードを切り離してください。  
また、このゲームでは「アラーム付きタイマー」「筆記具」が追加で必要となります。

株式カードと市場情報カードを分け、それぞれ裏向きでよく混ぜます。  
各プレイヤーに以下のものを配ります

- ・株式カード（裏向きで配り、内容は受け取った人だけが確認します）  
3～4 人：6 枚 / 5～6 人：4 枚 / 7～9 人：3 枚
- ・市場情報カード：1 枚（裏向きで配り、内容は受け取った人だけが確認します）
- ・紙幣：10 及び 50 を各 5 枚（人数に関係なく開始時の資金は 300 です）

配らなかつたカードと紙幣は裏向きのままスコアシートや筆記具と一緒に置いておきます。

各プレイヤーは手元の株式カードから 1 枚選び自分の前に伏せます。全員が伏せたら一斉に表向けて誰がどの株式を持っているのか 1 枚だけ確認します（公開した株式はその人の手元に戻ります）。

タイマーを 10 分にセットし、スタートさせたらゲームも開始します。

## ゲーム中にやることできること

タイマーは残り時間を誰もわからないようにしておきます。

どのプレイヤーも残り時間を確認できません！

プレイヤーは他の人と交渉を行い、自分の株式や資金を交換することが可能です  
このとき、交渉材料となるのは「現在所有する株式」「現在所有する資金」「自身が持つ市場情報カードの内容」です。

### 正しい交換の例

- ・お互いに株式を交換する（どの銘柄を交換するかまで決めても良い）
- ・株式を資金で売買する
- ・株式もしくは資金（かその両方）を渡して相手の市場情報カードの内容を確認する

### 正しくない交換の例

- ・あとで返す約束を取り付けて資金や株式を受け取る（未来の資産を交渉材料にできません）
- ・他の人の市場情報の内容を他の人に教える（自分が持たない情報を交渉材料に出来ません）
- ・現金もしくはゲーム外のものを交渉材料にする（トラブルのもとですのでやめましょう）

なお、交渉に参加する全員が合意すれば三者間（もしくはそれ以上）での交換をしても構いません。

## ゲームの終了と勝敗

タイマーのアラームが鳴った時点でゲームは終了します。その時点で成立していない交渉は打ち切ります。

プレイヤーの一人が記録係となり、スコアシートに結果を記録していきます。  
各プレイヤーは順に自分が持つ株式カードの種類と枚数、所持資金の額、市場情報カードの内容をカードを公開しながら申告します。  
記録係は申告に従いスコアシートに記入していきます。  
全員が申告したら、各銘柄の 1 株あたりの価格を確定させます。  
銘柄ごとに全体で持っていた枚数の下に書かれた数字がその銘柄の価格となります。

最終的に資産合計（資金 + 株式の総価格 + 市場情報による変動）の最も多いプレイヤーが勝者となります。  
複数人いた場合、資金を覗いた資産合計が、それも同じなら株式カードの所持数の多い人が勝者となります。それでも決まらないなら？コイントスで決めてしまいましょう。

## 市場情報カードの補足

ゲーム終了時に発生する様々なイベントが書かれたカードです。  
カードの一覧と補足は以下となります。



資産合計を計算する際、資金にこのカードに書かれた補正がかかります。  
両方のカードがあれば打ち消し合います



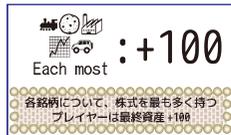
資金の最も多い / 少ない人は資産合計が100引かれます。  
対象が複数人いた場合、該当する全員の資産が引かれます。



これらのカードは各銘柄の株価に補正をかけます。  
該当する銘柄が複数あった場合、その全てに適用されます。



5社すべての銘柄の株式を1枚以上持っているプレイヤーは資産合計に +100 されます。  
2枚以上のセットがあっても加算されるのは100です。



5社の銘柄それぞれについて最も多く所持していたプレイヤーの資産合計に +100 されます。  
該当者が複数人いた場合、その全員が100ずつ加算されます。



株式が最も少ない人は資産合計から100引かれます。  
対象が複数人いた場合、該当する全員の資産が引かれます。



株式カードをゲーム開始時の2倍以上持っていたプレイヤーは所持している株式数 x20 だけ資産合計が引かれます。  
7人プレイで8枚持っていた場合、-160です。

## スコアシート記入例

名前	所持金	枚数 3	枚数 4	枚数 3	枚数 4	枚数 6	その他
	x2	資産額 @ 60	資産額 @ 60	資産額 @80/2	資産額 @50x2	資産額 @ 70	資産合計
Sample	150	2		1		3	+50x2-120
	300	120		40		210	650

名前 : プレイヤー名を記入します

所持金 : 上段に手持ちの紙幣の合計額を、  
下段に市場情報カードの処理を行ったものを書きます

株式 : 各社の株式カードの枚数を上段に記入します  
2段目の下段に各会社の株価をメモしておき、  
枚数と掛けた額をプレイヤーの枠の下段に記入します

その他 : 直接資産合計に関する情報カードの処理による資産変動を記入します

資産合計 : プレイヤーの下段の各項目にその他の分を合計した値を記入します

これがそのプレイヤーの最終的な資産合計となります

奥付

ゲームデザイン : K' nnon  
k\_nnon@stones.sakura.ne.jp  
<http://troep.sakura.ne.jp/Diary/>

2017/05/14 高天原  
<http://takamagaharagames.web.fc2.com/>



※このゲームはGM2016秋頒布した同名ゲームの改訂版です  
改訂内容は「プレイ人数の拡大」  
「カードデザインの変更」  
「一部市場情報カードの内容変更」  
の3点です。